



KORA SYSTEMS INC.

プレスキット

2026年11月10日（米国時間）

KORA ファクトシート

KORAとは何か、誰が作り、いつ登場するのかを1ページにまとめました。

※本資料は英語版の日本語訳です。内容および解釈については英語版が優先されます。

会社

KORA Systems Inc.（米国カリフォルニア州パロアルト）。2022年にPlaytronとして創業し、デバイスに搭載されて出荷された完全なLinux OS「GameOS」を開発。2025年11月から、その基盤の上でKORAを開発している。

製品

KORA（The Operating System for Intelligence）。Linuxを基盤とする新しいデスクトップOSで、モデルとエージェントがOSそのものの一部として組み込まれている。

発表日

2026年11月10日（米国時間）

対象ユーザー

まず開発者とクリエイター。すでにインテリジェンスにお金を払い、自分のシリコンでモデルを動かし、そのためのハードウェアを購入している人々。

3つのモード

Work、Create、Playを1台のマシンで。

Cortex

OSの神経系。ローカルモデルに最適化されたハイブリッド推論エンジンで、マシン内のすべてのチップ（CPU、GPU、NPU）とネットワーク上のすべてのマシンを1台のコンピューターに変える。ローカルモデルは標準でユーザー自身のシリコン上で動作し、作業が求めるときにはフロンティアモデルが加わる。

ニューラルワークスペースとファイルシステム

新しいユーザー体験。フォルダーとアプリを中心としたデスクトップを、意図、コンテキスト、記憶を中心としたものに置き換える。ニューラルファイルシステムはファイルを意味で索引化し、人もエージェントも、名前やフォルダーだけでなく内容から情報を見つけられる。

GameFrame

GameOSはKORAの中で、プレイモード「GameFrame」として生き続ける。

kora.fun

KORA™

WORK
CREATE
PLAY



ワンクリックでKORAのデスクトップがゲーム機に変わり、PC向けのゲームをそのまま楽しめる。

オープン性

あらゆるモデル、あらゆるAIサービス、あらゆるエージェントに開かれ、パートナーがシステムレベルで統合できるOS。どのラボのどのモデルでも、ローカルでもクラウドでも、選ぶのはユーザー。

提供時期

2027年にPC向けに提供予定。Qualcomm Technologiesとの協業により、Snapdragon搭載マシンにも対応する。

Qualcomm

両社による約1年のエンジニアリングにより、Snapdragon X2 Elite搭載PC上で完全なLinuxデスクトップOSが動作し、大規模AIモデルをすべてデバイス上で実行し、推論をプラットフォームのCPU、GPU、NPUにまたがってスケジューリングできるようになった。Qualcomm TechnologiesはSnapdragon X2 EliteのサポートをメインラインのLinuxカーネルにアップストリームし続けている。

HUMAIN OS

KORAがHUMAINと共同開発するエンタープライズ向けAIネイティブOS。リヤドのLEAP 2026で発表され、KORAのLinuxおよびエージェント・プラットフォームの上に構築されている。2027年に商用提供予定で、LinuxベースのデスクトップOSとSnapdragon X2 Eliteプラットフォームを組み合わせた世界初のOEM製PCでデビューする。

チーム

OSエンジニアリングとプラットフォーム・エコシステム構築に深い経験を持つ。Cyanogen、Android、GameOSの3つのOSを合計10億台以上のデバイスに届けてきた。

経営陣

最高経営責任者（CEO）カート・マクマスター（Kirt McMaster）。最高事業責任者（CBO）ジョン・ラーゲリン（John Lagerling）。最高技術責任者（CTO）フランク・デ・ジロラミ（Franck De Girolami）。

投資家

Samsung、Square Enix、Polychain、VanEck、Circle、Alumni Ventures

ウェブサイト

kora.fun